

武富則章さん 早々と2連勝し、通算8勝目に輝く！

昨シーズンの賞金王・武富則章さんが好調ぶりを発揮して今シーズン早くも2勝目をマークし、2015年参戦以来通算8勝目を手にしました。一方、侮れないのが女子組トップを行く的場幸枝さん。この日は武富さんと同組でデッドヒートを展開、2ゲーム目まではリードをしていただけに2位に甘んじた悔やみきれない一戦となりました。近い日の初優勝を期待しましょう！

さて、例会当日まで頭を悩ませたのはゲーム料金問題でした。これまで適用していたプレー時間の拘束が無く、貸靴代込の“ウイークデープラン”の継続がボウリング場の都合で未定となり、“時間貸しゲーム料金制”（貸靴代は別料金）を当分の間適用されることとなりました。

そのため、参加人数とプレー時間との兼ね合いから、例会ごとにゲーム料金が異なることが十分に考えられたので、通達文書により事前説明で了解を得たうえでの実施となった次第です。

そんな状況下にもかかわらず、とてもうれしい出来事が三つもありました。

一つは、部会員38名（男子31名、女子8名）中参加が29名（男子21名、女子8名）と普段と変わらない人数となったことです。しかも当初は31名がエントリーした後、2名キャンセルの結果です。

二つは、マイシューズ所有者が17名（うち3名欠席）いることが判ったことです。これまでは貸靴代込料金だったので、持参しなかっただけと思われます。この流れで今後はマイボール持参組が増えることを期待したいものです。

三つは、参加者全員が2年ぶりに3ゲームトータルで1個以上のストライクをマークしたことです。2016年4月のゲーム代改定（値上げ）を機に、それまでの4ゲーム中3ゲーム分のスコア集計方式から、練習ボール無しの3ゲームに切り替えたため、ストライクが獲りにくくなっていたところでした。これは皆さんが着実にレベルアップしている証拠と捉えています。

さて、26人目のリレートークバトンを受けたのは太田哲次さんです。太田さんもボウリングブームだった昭和40年代に青春を過ごし、早朝割引の100円のために数時間の待ち時間をもものともしなかった思い出はとても共感を呼び起こさせますね！では頂きながらのご一読を!!

私とボウリング

リレートーク②⑥ 太田 哲次

私の学生時代はテレビでもボウリング番組が放映され、ボウリングの全盛時代でした。

授業をさぼって、よく“後樂園ボウル”に女子プロの試合を見に行ったことを思い出します。

クラスメイトとは早朝割引を利用して、今はなくなった“品川ボウル”によく行きました。当時1ゲーム250円が早朝だと100円と言う事で、普段ならまだ寝ている時間にその時ばかりは早起きして5,6ゲーム位投げ、そのあと喫茶店でモーニングセットを食べながら、ボウリング談義（中身はもっぱら女子プロの誰が可愛いとか、誰が好みだとか・・・）をしたものです。

会社に入った頃は社内ボウリング大会も盛んでしたが、いつの間にかブームも去り、仕事も忙しくなってきたため、何十年もボウリングから遠ざかっていました。

高校時代の仲間とここ何年か、年に1,2回ボウリングをし始めましたが、自分だけでなく皆かつての平均アベレージより数十点かはスコアがダウンしています。

そんな時、元部会員だった中釜さんに誘われて2015年7月にボウリング部会に入会させて頂きました。2015年度のアベレージ131で、これから徐々にスコアアップをと思っていたのですが、2016年度は125。2017年度は123と年々スコアダウン、今年は頑張ろうと思っています。

スコアは別として現役時代に面識がなかった方々とも、ボウリングを通じ親しくなれたことは大きな収穫です。これも杉山部会長のお人柄、ご尽力のおかげです。

これからも部会の皆様と末永く、お付き合いさせていただければと思っています。

【次回の予告】

次回は7月10日（第2火曜日）です。

今年も“取切戦・暑気払い杯”と通常の順位戦に加え、1月の“初投げイベント”で楽しんだ“ボックス対抗・リレーボウリング大会”を併せて開催します。

皆さんからの要望もあり、リレーボウリングは2ゲームトータルピンで競い、上位2チームを表彰対象とします。競技方法は前回作成したルールに準じて行います。

なお、取切戦とリレーボウリング大会の表彰は、いつもの「カレーハウス・シエール」にて行いますが、30名以上の参加でサービス宴会料金の適用となるので、参加優先の予定組み入れを是非ともお願いします。

以上

2018年5月18日 杉山 光司 記

2018年度第3回 (5月8日)
 関東大和ハウスOB・OG会 ボウリング部会 例会成績表

順位	会員名	3G スコア	アベレ ージ	HC ×3	トータ ル	ハイゲ ーム	ストラ イク	スペ ア	ガタ ー	次回HC (1G)	各賞	獲得 P
1位	武富 則章	489	163.0	27	516	177	8	14	0	6	優勝	5
2位	的場 幸枝	408	136.0	93	501	159	6	8	0	25	2位	4
3位	岡元 孝一	433	144.3	60	493	148	6	12	0	18	3位	3
4位	山田 茂	465	155.0	☆12	477	163	10	10	0	☆4	4位	2
5位	浜野 友治	431	143.7	45	476	156	5	13	1	15	5位	1
6位	鈴木 政美	372	124.0	90	462	146	3	10	1	30		
7位	高梨 政子	370	123.3	90	460	139	4	9	1	30	7位	1
8位	川村 由江	355	118.3	105	460	127	2	11	0	35	当日賞	1
9位	杉山 光司	436	145.3	☆18	454	173	6	12	0	☆6		
10位	手塚 敏文	428	142.7	☆15	443	170	4	12	0	☆5	10位	1
11位	勝俣 佳忠	383	127.7	60	443	157	5	9	0	20		
12位	太田 哲次	391	130.3	45	436	138	4	10	0	15		
13位	金久保篤司	391	130.3	45	436	158	7	8	0	15		
14位	坂本 洋子	330	110.0	105	435	120	5	4	4	35		
15位	森 和晴	372	124.0	45	417	130	5	9	0	15	15位	1
16位	大網 公雄	370	123.3	45	415	137	3	9	0	15		
17位	官川 さと子	302	100.7	105	407	104	3	4	2	35		
18位	小泉 元二	355	118.3	45	400	129	3	9	1	15		
19位	花川 常美	350	116.7	45	395	133	3	7	0	15		
20位	中村 信之	334	111.3	60	394	131	2	7	0	20	20位	1
21位	山本 浩右	323	107.7	60	383	131	4	5	3	20		
22位	重村 俊夫	346	115.3	36	382	122	1	9	0	12		
23位	鈴木 雅生	331	110.3	45	376	121	4	5	0	15		
24位	高村 義明	315	105.0	60	375	117	3	8	3	20		
25位	小高 国幹	314	104.7	60	374	122	3	5	1	20	25位	1
26位	五十畑 芳江	262	87.3	105	367	95	1	6	5	35		
27位	飛弾野真由美	276	92.0	90	366	103	3	3	5	30		
28位	仲西 徹	293	97.7	60	353	105	2	5	3	20	BB賞	1
29位	柘植 正司	247	82.3	45	292	93	3	4	10	15		

☆印はマイボール H/C10 差引済み ※赤字はHC変更

